

本検討会の主旨について

来出水期までの検討の流れ

平成30年度

旭川水害タイムライン《平成29年度版》

平成30年7月豪雨

**出水期
実際の台風で運用（4回）**
(台風12号、20号、21号、24号)

【第9回検討会】（平成30年11月14日）
・今年度の出水期のふりかえりについて
出水対応を踏まえた
よかったこと、よくなかったこと、要因、改善策を議論

今回

【第10回検討会】（平成31年2月14日）
・前線性降雨の検討
・出水対応の振り返り内容の伝承に向けて
・タイムラインへの反映に向けて
出水対応振り返り内容の整理
タイムラインへの反映方針
旭川水害タイムライン《平成30年度版》（案）

前線性降雨時の運用を追加

平成31年度

旭川水害タイムライン《平成30年度版》の策定(平成31年3月上旬)

【今後の検討会】
・来出水期に向けた課題について
・旭川水害タイムライン《平成30年度版》の運用に向けて出水期前の読み合わせを実施
(平成31年6月中旬)

平成31年出水期

(参考)旭川水害タイムライン検討会(第9回)の概要

今回のテーマ： 「今年度の出水期のふりかえりについて」

日時：平成30年11月14日(水)13時30分～16時30分
場所：岡山市 北消防署
全参加機関(27機関)のうち、16機関が参加

- ・今年度上陸した台風や前線性降雨による当時の状況をふりかえりました。
- ・また、タイムライン作成時のグループに分かれ、平成30年度の出水対応について意見交換を行い、うまくいったこと、いかなかったことを振り返り、改善策について議論しました。

出水対応についてのふりかえりの様子



グループ内での意見交換



出水対応のふりかえり



課題に対する改善策の抽出



グループワークの成果発表

アドバイザー、座長からの意見、講評



アドバイザー 村中氏

- ・災害の激甚度と現象の激甚度は、人的被害が関わってくるため必ずしも1対1で対応していない。**人の行動(避難行動、情報の発信者など)がとても大事。**
- ・次回検討会ではタイムラインをバージョンアップすることになる。
- ・人事異動でも人が介在するところはしっかり対応していく必要がある。



座長 松尾氏

- ・今回の検討会で課題について議論してもらった。来年度版に向けてタイムラインの見直しをしていく必要がある。
- ・それぞれの機関にもタイムラインがあるが、**全ては市民の命を守るため**にある。関係機関で意識を合わせて取り組んでいくことが重要である。
- ・今日のふりかえりで何を改善すべきかを提案してもらった。**タイムラインの改善に繋がる部分はタイムラインに反映**していきたい。